



第113号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”
 「信念のあるミッション」
 アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”
 「愛を持って奉仕しよう」
 東日本区理事：渡辺 隆 「原点に立って、未来へステップ」
 湘南・沖縄部長：今城高之 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
 クラブ会長：辻 剛 「初心に帰り、世のため、人のため」
 —喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

「わたしたちが悩み苦しむとき、それはあなたがたの慰めと救いになります。また、わたしたちが慰められるとき、それはあなたがたの慰めになり、あなたがたがわたしたちの苦しみと同じ苦しみに耐えることができるのです。」

コリントの信徒への手紙 二
 1章6節

2015年10月移動本例会

日時：2015年10月23日
 8:30~20:30
 ぶどう狩りバスツアー移動例会
 8:30 センター南発
 8:45 市ヶ尾駅発
 バスプロ：鈴木S担当
 10:30 若尾果樹園
 ぶどう狩り
 11:10 若尾果樹園発
 バスプロ：林S
 11:50 県立美術館着
 昼食・常設展見学
 12:50 県立美術館発
 13:20 登美の丘ワイナリー着
 見学ツアー
 15:15 登美の丘ワイナリー発
 バスプロ：横田
 16:15 ぶどうの丘着
 自由時間
 展望レストラン
 天空の湯
 ワインカーブ
 ▶ 夕食
 18:20 ぶどうの丘発
 バスプロ：横田
 20:10 市ヶ尾駅着
 20:30 センター南海産
 会費：8000円
 (昼食・夕食・見学ツアー含む)

<トックリランの花>



福島佐世子

私が生まれた時から祖父が庭なのに畑と言った方が良いほど大根、じゃがいも、ネギ、豆、等あらゆる野菜を植えて それらの隙間には矢車草、コスモス、水仙、カンナ等雑草のように花が咲いて私は蝶々、トンボ、セミ等を追っかけていました。草取り、水やり等で祖父が手入れしている事など感じたことも無く過ぎていました。それから数十年！結婚してマンション暮らしになり植物とは無縁の生活をしていましたが子供が生まれ家を離れることも出来ない昼間に、ふとベランダ園芸を思いつき、パンジー、ベゴニア、ペチュニア、ストック等育てやすい花を種から蒔いてコツコツ育てて半年かけてお花畑のようにして楽しんでいました。だんだん飽き足らなくなり、山野草、バラに手を出し始めたら難しく！水やり、土、温度管理、剪定等何をして枯れてしまい、かなり苦労しましたが、マニュアルどおり丁寧に努力したら、数年がかりで何とか育つようになりましたが、手を抜くと瞬く間にだめになりました。手をかければかける程上手いかない子育てもこういう風にいけば良いな！なんて思いながら日々植物と向き合っていました。

でも今年の夏思いもよらない事が起こりました。長男が生まれた43年前に八丈島からのお土産にピンポン玉の様な根から細い葉がポニーテイルのように出ている16cm位の観葉植物をいただきました。そのまま少しずつ大きくなるので、鉢を変えながら枯れないから捨てる訳にもいかず、水をやったりやらなかったり、日の当たらない部屋の隅っこに置きっぱなしにしていたら大きくなりすぎて、15年前位から熱帯植物と分かってながらベランダの隅に置いて真冬も外気に晒していたら、今年の夏ベランダの天井に2m位の茎のてっぺんから約1m伸び蕾を付けてました。花が咲くなど予想もしなかったのが驚きました。少し調べてみると数十年に一回咲くそうです。この地区で咲くのは珍しいそうです。人間も花も目をかけながら、余り手をかけず自力で生きていく方法を身につけていくのがいいのかな〜！と、遅すぎましたが今までの人生の反省も含めて、感慨深いトックリランの花でした。

<10月強調月間 EMC-E、YES>

EMCはE=Extension(クラブ拡張)、M=Membership(会員増強)、C=Conservation(会員の維持養育)の頭文字を綴ったものです。今期北東部で宮古と石巻クラブ、東新部で多摩センタークラブ設立に向けて活発な活動が展開されています。YESはY's Extension Supportの略称で、新クラブ設立の活動を支援するための国際レベルの基金です。国際本部に拠出された献金の2/3は、集められた地域に戻され、YESの地域事業主任への申請にもとづき地域議会で申請した区、部、クラブへの配分が決められます。(今年度の東日本区献金目標は、500円以上/人以上)

前月データ

例会出席	17名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	累計
メンバー	15名	月間出席数	18名	使用済み切手	0g	100g
ビジター	2名	メーキャップ	3名	プルタブ	2.0kg	7.0kg
ゲスト	1名	月間出席率	100%	スマイル	16,500円	35,922円

<9月本例会報告>

- 日時:2015年9月25日(金) 18:30~20:30
 会場:かけはし都筑
 出席者:相賀、今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、田中、辻Ts、林S・M、福島、横田
 ゲスト・ビジター:宮内友弥、権藤徳彦、高松満至
 1. 開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条唱和
 3. 今月の聖句:コロサイの信徒への手紙 3:13~14
 相賀チャブレンのメッセージから
 「きずな」は英語で band or bond(熊本バンドの所以)、口語訳では「帯」と訳され「愛は徳を全うする帯」となる。キリストが一人ひとりを大事にして下さったように私達も同じように(賜物は違うが)他者を大事にするかが問われている。秋の活動においても愛をもって絆を強め、歩みを進めたい。
 4. ビジター・ゲストの紹介
 卓話の東京武蔵野多摩クラブ会長 宮内友弥さん
 高松満至さん、権藤徳彦さん共に熊本バンドの流れをくむ「花稜会」出身。
 5. 会長挨拶:今年度、初めての卓話者を迎えての本例会。大雨による災害について、相賀先生のご実家が床下浸水で一時避難。スマイルは被災地のための献金としたい。湘南・沖縄部会およびYOU & I コンサートのため力を結集する。
 6. 卓話:「アジアエリアの現状とモンゴルの新クラブについて」



- 資料に基づきお話し頂いた。残念なことにパワーポイントが不具合のため資料と写真集により説明頂いた。若いメンバーが中心でYMCA自体が1年前に再設立され、そのサポートのためワイズメンズクラブが作られた。各国YMCAから5年間資金を受け「ゲルキャンプ」を運営しようとしている。京都のアジア大会にはユースを派遣した等報告された。ユースの活動としては「Green Project」植林、災害支援(豪雨によるゲルの被害に対して)、English Summer Camp、スポーツイベント等。
 7. スマイル:水害被災地のために。
 8. アピール:ユースについて、横浜Y3の歩みと現状について久保ワイズから報告。
 9. 連絡・確認事項
 ・「YOU & I コンサート」役割確認等。
 ・「北YMCAバザー」についてのお願ひ
 ・「ぶどう狩」10月移動本例会(10/23)の行程説明
 ・金沢八景クラブ10周年の会(10/24)17時
 ・10月の山元町訪問は保育園の都合により中止。
 10. 閉会点鐘
 「サルヴァトーレ」にて懇親会。

<10月事務例会報告>

- 日時:2015年10月13日(金) 18:30~20:30
 会場:田園江田教会
 出席者:今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、辻Ts、林S・M、横田
 1) 議案
 (1) 各事業チームの件。各チームチーフ役の確認。チーフは企画書・スケジュールを提出すること。
 (2) チャリランの件。今年の参加は128チーム。当クラブは2チームスポンサー。役割分担、時間など詳細は今城Hがメールで流す。
 (3) YOU&Iコンサート の件 無事に終了した。アンケート調査はメールを参照のこと。参加人数はスタッフを入れて400名位。しかし人数のわりにチケット収入が少なかった。障がい者ペア券が多かったためと思われる。本来の目的であるので良いことだ。報告書は1か月以内に役所に提出のこと。来年は10月初旬が定着したので、10/1(土)か10/8(土)で進める。
 (4) 今後の卓話者の件
 11月は堀江氏 12月~2月は無し 3月~6月の候補者を皆で検討した。
 2) 報告・連絡・確認事項
 (1) 10月~11月の予定確認(年間予定表にて)
 ・10/18(日)あずさ部会(甲府)
 ・10/21(水)都筑区災ボラネットワーク設立総会。
 ・10/23(金)10月本例会は移動例会としてブドウ狩り。バスの中ではバスプロにより「シンキング」などを行う。
 ・10/24(土)金沢八景クラブ「設立10周年祝会」
 ・10/25(日)福祉農園芋ほりに岡田K&M参加
 ・11/28(土)「東日本区メネットのつどい」(熱海)
 3) 報告
 ・「みんなの家(COCO)」報告→今城H
 ・「みんなの家(ポピー)」報告→鈴木K
 ・「アーモンド」報告→林M
 ・YOU&Iコンサートでの募金の件⇒横田
 募金額¥66,000円は東日本大震災と関東・東北豪雨水害とに折半で寄付する。
 ・湘南・沖縄部関係→今城T
 沖縄公式訪問の日程は、1/30~31(日)で再検討する。
 ・東山荘の件→辻Ts
 100年募金の一環として、12月1日にチャリティゴルフを開催。ご都合が付き方はご参加ください。
 4) 今月・来月のつづきクラブCS活動担当者確認
 (月別担当者予定表にて確認)
 閉会后、懇親会を「一心」で開催。(岡田勝美 記)

<第5回「YOU & I コンサート」報告>

2015年10月3日(土) 13時開場 14時開演

会場：都筑公会堂

待ちに待ったコンサート当日は素晴らしい秋晴れとなりました。5回目となる「YOU & I コンサート」には過去の回にも参加し、大きな期待をもって楽しみに来場下さる方々や、初めての参加に親子共々ドキドキしていらっしゃる方々など多くの皆様が集まって下さいました。

佐藤先生率いる横浜室内合奏団・歌劇団は、過去のアンケート等を参考にバラエティーに富んだプログラムを準備して演奏に臨まれました。

およそ一時間前から入場が始まり、車イス席に今年は4名の方が着席。また、例年に比べて多くの障がいを持つ青年の方が来場されました。小さいお子さんをつれて家族で来ておられる方々も増えています。本コンサートの主旨が地域の中に伝わってきていることを感じる嬉しいことでした。



開幕のベルが鳴りよいよ第一部の開演です！今年はいつも後援頂いている都筑区社会福祉協議会の事務局長阪野様に開会挨拶を頂き、地域との繋がりを心から感謝するものとなりました。

横浜室内合奏団が紹介され、大きな拍手に迎えられて演奏が始まりました。



驚くほど会場は静かになり、老若男女、障がいあるなし関係なく美しい音楽に引き込まれていきました。



コンサート初体験の発達障がいの青年と来場されていた親御さんは曲に耳を傾けている息子さんの様子を喜んでおられました。



20分の休憩をはさみ第二部は横浜室内歌劇団によるオペラ「桃太郎」です。



皆も良く知っているお話だけにどのような演出なのか興味深々！歌舞伎なみの早変わり（！？）一人3役はどんなに大変だったでしょう。あるお子さん曰く「イヌもサルも何にもしなかったね～。キジさん、えらかったね～」とのこと。

又、ある青年は本気で「鬼」が怖かったため頭を隠していたそうです。ともあれ「桃太郎」は大好評でした！

楽しい時は早く流れ最後の曲が終わり、出演者の皆さんに運営委員会からプレゼント贈呈がされました。辻運営委員長による閉会の挨拶に続き「花は咲く」を全員で歌います。聴衆もステージの出演者の皆さんも一体となって東日本大震災を忘れない思い、そして関東・東北大水害の被災地にも思いを馳せて大合唱となりました。ご来場下さった皆様、本当にありがとうございました！

終了後、多くの方々から募金を頂きましたことを感謝をもって報告させていただきます。募金額(66,015円)は横浜YMCAを通して被災地の支援活動に使わせて頂きます。

素晴らしい演奏をして下さった横浜室内合奏団・歌劇団の皆様、心から感謝いたしますと共に、運営に携わって下さった各委員会の皆様、ボランティアの皆様、ワイズの皆様、お互いに大きな拍手を贈り合いたいと思います。

本当にお疲れ様でした！！

また、来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます！！

(事務局 今城 宏子 記)

＜湘南・沖縄部第2回役員会報告＞

日時：2015年9月26日14時～15時20分

会場：ワークピア横浜

参加者：16名（議決権者15名陪席1名）委任状2名



この役員会は、次々期部長選考委員会を兼ねるもので先ず選考方法について協議した。選考手続きが、部則の手順を踏んでいないとの意見が出され、議案の取り扱いについて協議した結果、各クラブの会長・会長代理から発言を求め、厚木クラブが9月30日のクラブ例会で検討するとの意思表示があり、厚木クラブの検討結果を待つこととし、継続審議となった。

役員会の議案は以下の通り：

- 1) CS/Yサ支援金支給額決定に関する件
地域奉仕事業主査提案の6クラブ（横浜、沖縄那覇、とつか、厚木、金沢八景、つづき）の申請書が審議され、すべて承認された。支援総額は昨年より1万円多い17万円。
- 2) Y-Y's 合同新年会について
2016年1月16日（土）18:00～20:00、つづきクラブがホストクラブとして準備することに決定。
- 3) 沖縄部長公式訪問に関する件
日程を：2016年1月30～31日に変更し、公式行事は30日集約する方向で再調整ことを了承。
- 4) 部研修会に関する件
2016年5月連休後の週末を候補日として、富士山YMCA、三浦ふれあいの村、上郷・森の家のいずれかで実施する部長提案に対し、各クラブの意見を11月15日までに取りまとめることを了承。
- 5) 次年度部会日程に関する件（次期部長提案）
2016年10月1日～2日、又は9月24日～25日、三浦ふれあいの村で実施する提案に各クラブで検討し意見をまとめることを了承。
- 5) 部会献金贈呈先に関する件
部会の献金を関東・東北豪雨被災者救援と東日本大震災復興支援に半額ずつ寄付することを承認。

（部書記 林 茂博 記）

＜第19回湘南・沖縄部部会報告＞

日時：2015年9月26日16時～20時

会場：ワークピア横浜

参加者：東日本区役員 7名、他部ビジター・ゲスト 7名

湘南・沖縄部メンバー 53名、合計 67名

第1部は今城部長の点鐘で開始され、ワイズソング、ワイズの信条、相賀牧師による聖書朗読・祈祷が行われた。

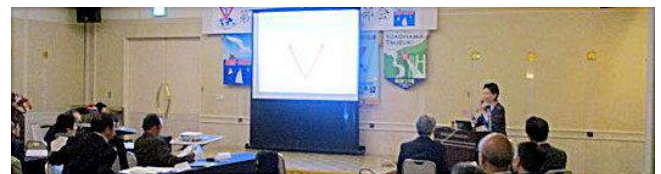
相賀牧師のショートメッセージでは、クリスマスの記事からボランティアの語源について語られた。

ビジター紹介の後、今城部長の挨拶では、「皆で参加するプログラムを考えているが、来年の5月に一泊の部研修会を持ちたい」との表明があった。



渡辺東日本区理事の本年度への部活性化へのメッセージと、田口横浜YMCA総主事の挨拶の後、サプライズとして田中直前理事が登場し、ブースター賞（4名以上の入会を達成したワイズメンに贈呈される国際の表彰）のメダルが田中直前理事から峯尾直前部長に授与された。

関東・東北豪雨被災者救援及び東日本大震災の復興支援募金としての献金が行われた。



講演会は「ボランティア活動の勧めとその喜び」と題して、岡戸良子氏（横浜YMCA常議員、清泉女学院ボランティアセンター長）より、ワイズのエンブレムに因んで、多角的なワイズの働きを紐解き、ボランティア活動を通しての「つながり」が生み出す多様な価値を認識し、ワイズ活動とボランティア活動を通して生き方発見の喜びに至るのではないかと示唆に富んだ講演があった。



続いては、部会初の試みとして、佐藤 節子地域奉仕事

業主査、浦出 昭吉会員増強事業主査、伊藤 康一国際・交流事業主査、天野 皓司ユース事業主査のリードで分科会が持たれた。(内容は、部長通信第2号に掲載予定) 進行の不利で短時間の協議となり、消化不良の感は否めず、残念な結果だったが、今後につなげて行きたい。



第二部の懇親会は、生井担当主事の司会で、辻つぎクラブ会長の歓迎挨拶で始まり、加藤利榮監事の音頭で乾杯。



和やかな会食となった。ビュッフェ形式ながら閉会まで食べ物・飲み物は尽きることがなかった。



アピール・タイムとなり、川越クラブの紅あか、東新部会に続いて第19回東日本区大会のアピールが区大会実行委員長森本 俊子さんからあった。



部会に先立って行われた第2回役員会の決定に基づき、献金6万円は、横浜YMCAを通して関東・東北豪雨被災者救援募金へ3万円、ワイズ東日本区の東日本大震災復興支援募金に3万円が湘南・沖縄部岡田会計から井上

部担当主事と二子石東日本区会計に託された。



部内各クラブの「とり」は、ホストクラブとして練習に励んだわがクラブのパフォーマンス!



上手下手は不問として、ホスピタリティの発露であったことは、皆さんに受け入れられたのではないかと!



最後にYMCAの歌を声高らかにうたい、若木次期部長(横浜とつか)の閉会点鐘で定刻の8時にお開きとなった。



数々の不手際があったにも関わらず、ホストクラブの皆様のご協力と生井担当主事の名司会に助けられて無事に終了できましたことを感謝いたします。



(部書記 林 茂博 記)

＜横浜北YMCAだより＞

今年も11月1日(日)～2016年3月31日(木)までの期間で国際・地域協力募金キャンペーンが始まります。横浜YMCA全体のテーマは、『笑顔につながる小さな一歩』とのこと。この募金活動は、国際事業委員会の方々を中心に、各YMCAから選出された委員(スタッフ)と本部事務局のスタッフで構成された国際・地域協力募金委員会で進められていきます。

構成メンバーの委員は、このキャンペーンを通して、多くの方々にYMCAの展開している国際・地域活動に協力していただくことやさらにこの活動の参画者を増やしていくなど、その推進役を担っていただいています。

集める募金の使途としては、この募金委員会からの提案や海外協力ガイドライン、地域協力の申請などに基づいて協議され、来年の5月の常議員会に提案され、承認を受け決定されていきます。

今後の募金委員会の中で今年度支援に用いられた募金の使途先を通じた学習会などからこの活動の広がりや学びつつ、今年度の募金キャンペーン活動の展開につなげられていきます。

この活動にもYMCA維持会員の方々による協働が大きな成果を生みだしているといえます。

横浜YMCAに連なる私たちは、公正で平和な世界の実現を目指し、地域社会に深く根ざしてすべての活動を展開し、異なった文化、民族、思想、信条を尊重し、共に助け合って生きていく世界を築くことにつとめ、愛と奉仕の実現のためにボランティア精神をつちかい、人びとに仕え、共に助け合って生きていく世界の実現につとめていきます。さらに私たちは、神によって与えられたすべての自然の生命と人間の生命を大切に、共生していき世界を築くことに力を注ぎ、人びとの間に自由、平等、正義が尊重され、差別や貧困のない平和な世界をつくり出すために共に力を合わせて働くことにつとめていきます。世界の人びとと積極的に交流し、協力し合い、分かち合い、人間性の尊ばれる地球社会をつくり出していくことを通してYMCAが求める平和を築いていきたいと考えます。



《11～12月の主な行事予定》

- 11月3日 北Yまつり
- 12月8日 うたごえ広場
- 12月13日 北YMCAクリスマス
- 12月17日 横浜YMCAクリスマス礼拝

(館長 生井 知三)

＜東新部会参加報告＞

日時：2015年10月10日(土)13:30～17:30

会場：東京YMCA東陽町センター

参加者：88名

湘南・沖縄部会に、城井実行委員長が来ていただきましたので、答礼の意味もあって古巣の部会に参加しました。ライト・グリーンのカラークーディネートに、ランチョンマット・箸袋まで、何から何まで手作りの東京むかでクラブらしい「おもてなし」に溢れる部会でした。

三部構成のプログラムで、第一部はスタンダードな部会。第二部は「野尻学荘を楽しむ」と題するむかでクラブ面目躍如のプログラム。第三部の懇親会も、手作りのお料理を中心に豪華なメニューが整えられ、キャンプソングを楽しみながら歓談の時を過ごしました。

いかにも東新らしい部会でしたが、OBとしては一抹の寂しさも感じました。東新部が8クラブとなり、その内2クラブしかグッドスタンディング・クラブがないことに驚き、それを反映する部会の参加者数でした。

しかし、仮称多摩センタークラブの設立準備が着々と進められているとのアピールに、希望の光を見出す思いでした。

当日配られた東新部部長通信に掲載されたアンケート結果を、当クラブのクラブシンキングにも役立つと考え転載します。

[ワイズの良くない点]

- 1) 高齢化
- 2) 若者が少ない
- 3) 閉鎖性(自己満足集団、形式主義、仲良しクラブ、マンネリ化、昔の事ばかり、ワイズの専門用語、組織が邪魔して若者が入らない)
- 4) お金がかかる
- 5) PR/EMC不足
- 6) 支援不足(奉仕活動の実践が足りない)
- 7) その他(女性の立場、集会が多い、参加意識が低調)

(林 茂博 記)

11月例会予告

11月本例会は、東京YMCAしのみYMCAこども園園長堀江和広主事をお招きして、東京ベイサイドクラブの設立や東京江東クラブへ幼稚園の父親を入会に導いた秘訣をお話いただきます。

本例会: 11月27日(金) 18:30-20:30

会場: かけはし都筑

11月事務例会は、10日(火)18:00から田園都筑教会で行います。11月から開始時間が30分繰り上がりますので、ご注意ください。